



出雲科学館へ行こう!

科学館をどんどん利用して、科学の不思議や楽しさを体験してください。
出雲科学館ではこんなことを行っています。（入館料は無料です）

小中学校理科学習

科学館では、子どもたちの科学する力を伸ばそうと平成14年度から、授業の一環として市内の小学3年生～中学3年生の理科授業を行っています。

出雲市の全ての子どもたちは、中学校卒業まで、1回あたり3

時間の授業を合計13回、科学館で受けることとなります。

学校にはない高度な装置・機器を活用し、また、豊富な器具・材料を使って、一人一実験を可能としながら科学をしっかりと体験し、学ぶことができます。



目の前でおきる現象を真剣に見つめる子どもたち

小6 燃焼 実験室での体験的学習
一クラスにつき3人の指導者（科学館スタッフ、引率の先生）のもと、一人一人が実験を体験します。



このたび、学習指導要領が改訂され、理科学習の内容もかわってきます。科学館で行う理科学習の内容も一部新しくし、対応していきます。

今後も、新しい科学の世界を子どもたちに見せることにより、科学への興味・関心を高め、理科を楽しんでもらえるよう授業を行っていきます。

エネルギー教育賞 『特別奨励賞』を受賞

エネルギーや環境問題に取り組む教育団体などを表彰するエネルギー教育賞（日本電気協会主催）に今年度、科学館で行っている小学4年生『電気のはたらき』の理科学習が、特別奨励賞を受賞しました。

この学習には、これまでに約8,700人の子どもたちが受講し、自転車を使った発電競争や、野菜や豆腐等身近なものを利用した手づくり電池の実験などをとおして、電気の仕組みや役割などを学んでいます。

この賞の他にも過去4件、理科授業に対し、学会及び団体から表彰を受けています。



電気自転車を使った発電競争の様子。この単元では持ち帰り実験セットを渡し、家庭学習へもつなげていきます。



めざせノーベル賞!

実験・ものづくり
木工教室・企画展

各種の実験・ものづくり・木工教室やサイエンスショーなど、年間800回以上の教室を開催し、子どもから、大人まで楽しんでもらえるような教室をめざします。

また、島根大学や松江工業高等専門学校、しまね海洋館アクアスなど、外部機関と連携をとり、単独では実施することが難しい新しい分野の教室や高度な知識を提供できる教室も開催しています。

ノーベル賞をめざせ 子ども科学学園
科学者や研究者など、科学のスペシャリストといっしょに「深く」「楽しく」科学を学びます。



レベルアップ☆サイエンス
学校や科学館の理科学習で勉強した内容をさらに深く、レベルアップをめざす教室です。



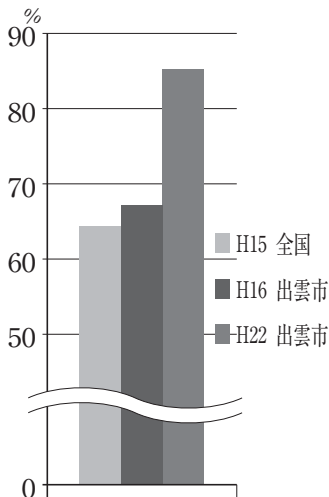
サイエンスショー
全国からまねいた科学実験ショーの達人や科学館講師が行います。



出雲の小学生は理科が好き!?

小6アンケート結果

理科の授業は好きですか?
全国と出雲市の小学生の「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合の比較



参照:教育課程実施状況調査(H15調べ)



山口大学 教育学部
重松 宏武 准教授

全国的に子どもたちの理科離れが心配される中で、出雲市の児童・生徒の理科学習に取り組む意識がとて高いことが文部科学省のアンケート調査によって明らかにされています。この結果は、出雲科学館における「児童・生徒の一人一人が「実際に」手を動かして観察・実験をし、得られた結果を「解釈する」という一連の『科学的な』理科学習」の実践が効果的に実を結んだものと考えます。さらには、豊富な器具や指導にあたる教員数の充実による、手厚い指導の賜物と言えます。これら継続的な活動・成果により、教育関係機関において「出雲では先進的で優れた理科教育に取り組んでいる」と広く知られるようになっていきます。

また、生涯学習の教室では、学校の理科部や科学部では簡単に実施できないような高度な内容の事業(子ども科学学園や子ども天文クラブなど)を県内外の大学や研究機関と連携をして、地域の子どもたちを対象に積極的に実践していることも高く評価できます。

一般に、教育事業においては、「テストで何点取れた!」という数字として出る結果以外に、身の回りの現象を科学的に理解しようとする意欲や探究心など、目には見えない『学習への意識を高める』努力を継続することがとて大切です。出雲科学館では、単に科学館という施設があるだけでなく、教育的な専門性並びに、科学的な知識と感性を兼ね備えた教職員の不断の努力も存在していることを高く評価したいと思います。